

新しい専門委員会が立ち上がります ナノセルロース・ナノカーボン複合材料専門委員会 新規委員会メンバーの募集

情報 URL <http://www.jspp.or.jp/>から「専門委員会」へ

プラスチック成形加工学会には、プラスチック成形加工学および境界領域にある技術分野に関する研究の健全な発達と会員に対する成果の還元を期するために、重要な課題について継続的に調査・研究することを目的とする専門委員会が設置されています。この度、新しく「ナノセルロース・ナノカーボン複合材料専門委員会」を2018年4月に立ち上げることとなりましたので、委員会メンバーの募集を行います。奮ってご参加下さい。

[設立発起人：阿多誠介(産業技術総合研究所)，伊藤彰浩(京都市産業技術研究所)，植松英之(福井大学)，大山秀子(立教大学)，仙波健(京都市産業技術研究所)，引間悠太(京都大学)]

1. 本専門委員会の趣旨

セルロースナノファイバー (CNF) や、カーボンナノチューブ (CNT) に代表されるナノカーボン材料は、様々な優れた特性、特長を有する一次元ナノ材料である。これらをプラスチックに代表される高分子材料にフィラーとして複合化することによりこれまでに無い、優れた機能を持つ高機能材料を創成することが期待されている。特に、次世代のエネルギー、輸送機器等へ適用が期待される高強度・軽量部材の創製にはこれらナノフィラーの適用が不可欠である。しかし、CNFやCNTは一次元材料である故にその分散制御や、成形加工時における配向状態を制御することが機能発現の要諦である。また、これらナノ材料の分散評価技術の開発も同時に行っていく必要がある。

これらCNFやCNTの実用化に向けた諸問題を継続的に解決していくために、発起人らはプラスチック成形加工学会内に「ナノセルロース・ナノカーボン専門委員会」を設立することを希望する。本委員会においてはCNF・CNT等フィラーの複合化および成形加工時における分

散・配向制御技術の確立に向けて継続的な検討を行い、委員同士の情報交流の場として機能させ、その成果を広く学会および産業界・学術界に還元することにより、CNF・CNT材料のさらなる実用化を推進・促進することを目的とする。

2. 平成30年度の事業計画

ナノセルロース・ナノカーボン専門委員会では、初年度においては話題提供と意見交換の場として委員会を開催する。また、詳細については今後検討を行う予定であるが、ナノセルロース・ナノカーボン関係の工場見学も同時に行う予定である。学会誌においては、ナノセルロース・ナノカーボン専門委員会特集号の発行を行い、学会員に対してナノセルロース・ナノカーボンの特長やその可能性についての発信を行っていく。

3. 入会について

本専門委員会に入会を希望される方は、学会Webサイトの「専門委員会」から「専門委員会参加申込書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、学会事務局までFAXまたは郵送にてお送り下さい。なお、入会資格は、会員、賛助会員、学生会員ですので、まだ会員になられていない方は入会申込書も併せてお送り下さい。

年会費

正会員／賛助会員：5,000円

学生会員：2,000円

4. お問い合わせ先

本専門委員会への入会に関するお問い合わせは、以下の学会事務局まで。

一般社団法人プラスチック成形加工学会 事務局

〒141-0032 東京都品川区大崎 5-8-5

グリーンプラザ五反田第2-205

TEL. (03)5436-3822 FAX. (03)3779-9698